

【平成28年度 外国籍市民施策懇話会 議事要旨】

日時 平成29年3月3日（金）18：30～20：15
場所 市役所 本館3階 会議室2
出席者 委員…高橋、阿曾、可児、野間、田中、小林
事務局…樋口課長、糸補佐、牧野
傍聴者 なし

【議題】第2次 多文化共生推進計画策定について

1 策定関係

《事務局》

- ・策定年度（平成29年度）、施策体系案、設定キーワードについて説明。
- ・平成29年度の予定について説明。（懇話会、庁内会議）

《意見交換》

- ・キーワードについては、必要な内容が入っている、カバーできていると思う。

2 現状調査

《事務局》

- ・実施した現場インタビュー（インタビュー結果）、先進地視察について説明。
- ・今後の現場調査、視察、アンケートについての予定を説明。

《意見交換》

- ・国際交流協会（TIRA）の日本語教室への現場視察は、以前は定期的にされていたので、ぜひやっていただきたい。最近、ベトナム人の生徒が多くの割合を占めており、市外からの参加者も多い。国籍が違っていても教え方について差異はないが、日本語のレベルはかなり違う。
- ・「資料2」について、インタビューの実施日を記載し、記録用資料としてほしい。
- ・「外国人市民の地域活動への参画」（地域分野）の、外国人の主催者側への取り込みについては、非常に重要なことである。岡崎市では、外国籍の方が自国の文化を日本語で紹介する講座を毎月開催している。（お互いの理解が深まり、日本語の練習の場ともなる）
→TIRAでは、年に1回「国際理解講座」を実施し、多くの方が参加している。

3 キーワードインタビュー

《事務局》

- ・設定キーワードについて、懇話会でインタビューを実施。（現場インタビューで話が膨らまなかったキーワードを中心に実施）

《意見交換》

（子ども）「日本語指導員の配置」「学習指導員の配置」

- ・どちらも多く配置できるとよい。
- ・現計画の「計画策定の背景」部分について、現状や最近の数値を知りたい。（外国籍市民の数等）
- ・幼保から高校までは、何人ぐらい配置されているのか。
→日本語支援員の配置については、小中学校9名、保育園1名配置している。その他については、調べる予定。

(生活)「情報の背景の伝達」

- ・外国人側のことか、日本人側のことか。
→日本の制度（国民健康保険制度等）に対し、母国と違うことで理解が進まない、なぜ必要なのか分からないということがあるので、背景にあるものからの説明が重要となる。
- ・非常に重要なことだが、このままのキーワードではわかりにくい。
- ・お互いの思いを知らないことで摩擦が生じてしまう。
- ・双方への働きかけが必要となる。（外国人側への背景の伝達、日本人側への研修）

(生活)「労働支援のための連携」

- ・就労関係の相談をどこにしたらよいかわからない。
- ・以前には、悪質な雇用主やブローカーによる、パスポートの取り上げ、ピンハネなど、劣悪な労働条件で働かされている実態があった。
- ・給与明細の見方がわからず、問題に気づけない。

(生活)「外国人相談業務の充実」

- ・日本人であれば相談先がわかるが、外国人はたどり着けない。何でも聞けるような相談窓口はあるか。
→外国人専用の窓口は設置していない。相談体制が固まっていないことが課題。
- ・多文化ソーシャルワーカーはいるか。
→豊明市ではない。（愛知県では以前に養成講座を実施）

(地域)「防犯や交通安全の意識啓発」「外国人市民自助組織」「災害時の対応の充実」

- ・市や自治会の防犯教室や訓練に参加しないのは、周知が足りないのか、参加しなくていいと思っているのか。
→人による。日本語がわからない、案内が届いていない場合もあれば、まず仕事優先で参加しなくてよいくと考えている場合もある。
→意識啓発には「背景の伝達」が大変重要となる。（地震体験車などを利用した災害の認識、訓練の意味の理解）
- ・道路標識、交通ルール、違反・罰金制度の周知
- ・避難所でB B Qをしてトラブルになったケースがある。（お互いの意識のずれ違い）

4 今後の調査・インタビュー等

《意見交換》

- ・懇話会以外にも調査するか。
→具体的な施策内容のところではまだわからないところもあるので、さらに調査を進め、事例などを引き出したい。
- ・市の外国籍の方へインタビューしてはどうか。
→簡単なマークシート形式のアンケートを配布すれば、統計的なデータがとれるのでは。
→アンケートの郵送、後日提出では絶対に集まらない。
→運動会など大きな行事の際に、その場でインタビュー（アンケート）をする。
- ・外国籍の方の転入手続きの際に、アンケートに記入してもらうのはどうか。（豊明市について知らないなので、転入より転居の方がよいか）
- ・コミュニティはいくつかあるか把握しているか。
→集住地区（豊明団地）はあるが、コミュニティについては把握していない。

→教会ベースであるのでは。教会へアプローチをしてみてもどうか。

- ・広報にて多文化共生をPRし、リーダーを募集し、その人を中心にアンケートを集めてもらうの
はどうか。
- ・病院の方や交番へインタビューしてはどうか。(外国人のトラブルに対応している)

(アンケートについて)

- ・「皆さんに役立つものです」と記載し、参加しやすい状況を作る。
- ・豊明市にどのくらい住んでいるかチェックする項目を作り、意見抽出の際の参考にする。
- ・豊明市の印象を聞く項目を作り、回答者の背景を知る。
- ・冷やかし等ではなく、しっかりと答えていることが判断できるような項目を入れる。

【次回開催日程】

*次年度第1回目は、5・6月頃で開催する予定。(日程は事前に調整)